## 第6学年 国語科学習指導案

平成 2 6 年 6 月 3 0 日 (月) 5 校時 場所 学校図書館

- 1. 単元名 新聞記事を伝えよう
- 2. ねらい 
   興味のある内容の新聞記事を進んで選ぶことができる。
  - 新聞記事を要約することができる。
  - 要約メモをもとに、分かりやすく友だちに伝えることができる。

### 3. 単元設定の理由

#### (1) 題材について

新聞は、最新の情報が得られ、国内外の社会のことを知ることができる、とても便利な物である。また、社会への関心や国際理解を深めることもできる。また、様々な記事の中から自分に必要な情報を選択し、活用する能力を身に付けたり、いろいろな見方や考え方に触れ、豊かな思考力や独創力を育むこともできる。また、新聞には、児童に興味を与える素材がたくさんあり、文章を読むことに対して抵抗を感じる児童にとっても手に取りやすい資料である。自分の興味のある記事を選ぶことで、要約や他の友だちに伝えるという活動も意欲的に取り組むことができると考える。

#### (2) 児童について

(省略)

#### (3) 指導にあたって

本題材は、新聞という児童の身近な資料を使うことによって、文章を読み取ることが苦手な児童も抵抗なく活動に取り組むことができると考える。また、新聞には様々なジャンルの記事が載っているため、どの児童も興味を持って意欲的に活動に取り組むことができる。記事選びの際には、児童自身が興味を持ち、友だちに伝えたいと思う記事を選ぶようにしたい。

児童は、本時までのところで、外部講師の T 先生をお迎えして 3 時間の要約学習を行っている。必要なキーワードを抜き出して文章を図式化することを学び、まとめる力(要約力)や文章を構造的に理解する力を身に付けてきている。本時ではその学習を生かし、自分の選んだ新聞記事について図式化し、分かりやすくまとめていく。記事を伝えるために必要なキーワードを抜き出し、記号等を使いながら一人一人に合ったまとめ方ができるよう、再度確認していきたい。その際、一人でまとめることが難しく支援が必要な児童には担任や学校司書が声をかけながら、一緒に考えていくようにする。

また、記事をまとめるだけでなく、記事に対しての自分なりの意見や感想などを必ず書くようにする。この活動を行うことによって伝えたい部分が明確になり、次のプレゼンテーションへと繋がっていく。

児童の中には大勢の前で自分の考えを伝えることはなかなかできないが、ペアやグループの中でなら伝えることができる、という児童もいる。そのため、プレゼンテーションの活動では、まずグループで行う。一人一人が図式化したメモを見て、自分の選んだ記事の内容や思いを伝える場を設定し、経験の場を増やしていくようにする。その後、全体へと発展させ、大勢の前でも堂々と発表できる力を身につけると共に、良いプレゼンテーションの仕方について、全体で学ぶことができるようにしたい。

## 4. 指導計画と評価計画(全3時間)

時	ねらい	主な学習活動	評価	評価方法
1	興味のある内容の新聞記事を進んで選ぶことができる。	<ul><li>毎日小学生新聞の中から教師が 選んだ記事をみんなで読み、感想 を書く。</li><li>新聞の中から友だちに伝えたい 記事を選ぶ。</li></ul>	興味のある内容の 記事を進んで選んで いる。	行動観察
2	新聞記事を要約する ことができる。 記事に対する自分の 考えを書くことができ る。	<ul><li>・ 選んだ記事の内容を図式化し、 要約する。</li><li>・ 記事に対する意見や感想を書く ことができる。</li></ul>	新聞記事を図式化 している。 記事に対する自分 の考えを書いてい る。	要約メモ
3	要約メモをもとに、友 だちに分かりやすく伝 えることができる。	<ul> <li>メモをもとに、グループで記事の内容や意見などを伝え合う。</li> <li>グループの中から良いプレゼンテーションをした児童を選び、代表者が全体でプレゼンテーションを行う。</li> </ul>	要約メモをもと に、友だちに分かり やすく伝えている。	プレゼンテーション

## 5. 本時の学習 (2/3)

- (1) 本時のねらい
  - ・新聞記事を要約することができる。
  - ・記事に対する自分の意見や考えを書くことができる。

## (2) 本時の展開

学習活動と予想される児童の反応	学級全体への支援・留意点	評価(評価方法)
. めあてを確認する。	・これまでに T 先生と行ってきた図式化のメモ	
白八が翠りが記事を図式化しよ	を見せて、図式化の仕方を思いだせるようにす	
-		<ul><li>. めあてを確認する。</li><li>・これまでに T 先生と行ってきた図式化のメモ</li><li>を見せて、図式化の仕方を思いだせるようにす</li></ul>

う。

		る。	
5	2. 選んだ記事を図式化する。	・キーワードが何かを考えてまとめるよう、声をかける。まとめることが難しい児童は、キーワードを見つけて囲むようにし、傍で一緒に図式化していくようにする。 ・記号を使い、キーワードや短い文章でまとめるよう、指導する。 ・早く終わった児童は、要約メモを見ながらプレゼンテーションの練習をするよう、声をかける。 ・個別の活動時間を十分取り、一人一人がしった。	新聞記事を要約している。(要約メモ)
		かり図式化できるようにする。	
20	3.記事に対する自分の意見や感想などを書く。	・感想を書くことが難しい児童には、傍で記事 を選んだ理由などを聞きながら、一緒に書くよ うにする。	記事に対する自 分の意見や感想 を書いている。 (要約メモ)
30	4. 要約メモをもとに、プレゼンテーションの練習をする。	・上手に伝えることができる児童には、要約メモを見ずに練習するよう、声をかける。 ・要約メモだけを見て練習していくことが難しい場合には、記事に戻って内容の理解をするよう声をかける。	
35	5.ペアで選んだ記事の内容を伝え合う。	<ul><li>・友だちの顔を見て伝えたり聞いたりするよう、声をかける。</li><li>・友だちのプレゼンテーションを聞いた後に、 感想を述べるよう伝える。</li></ul>	
	6. 次時の活動を知る。		

## (3) 予想される児童の具体的な姿

	十分満足できると判断され	おおむね満足できると判断	支援を必要とする児童への
	る児童の具体例	される児童の具体例	指導の手立て
新聞記事を要約す	キーワードをきちんと捉	キーワードを捉え、記号等	図式化をすることができ
ることができる。	え、大切な部分を落とさずま	を用いてまとめることがで	ない。
(図式化)	とめると共に、記号等を用い	きる。	→記事の内容を伝えるため
	て分かりやすくまとめるこ		のキーワードはどれかを一
	とができる。		緒に探し、囲んだり下線を引

			いたりして、捉えやすくする。 一緒に図式化し、やり方を 理解できるようにする。
記事に対する自分	記事に対する意見や感想な	記事に対する意見や感想な	意見や感想を書くことがで
の意見や感想を書	どを、詳しく書くことができ	どを書くことができる。	きない。
くことができる。	る。		→記事を選んだ理由を聞き、
			記事に対する思いなどを聞き
			出すようにする。

# (4)授業研究の視点

新聞記事を活用し、キーワード等を考えたことは、要約力を身に付けるための有効な手立てであったか。